

住民こそ主人公・住民のための市政を

# 明日の相模湖

No. 876

2022年3月13日

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

## 粘り強く関係機関に働きかけを続け

## 放置自動車を撤去

沼本ダムの入り口（寸沢嵐658付近）に数年にわたって放置され、付近の住民に迷惑をかけていた2台の自動車（普通1、軽1）のうち1台が1月28日に撤去されました。またこの現場のすぐ近くに半年前あたりから放置されていた軽自動車も撤去されました。

このダム前の放置自動車問題は推定で今から6、7年前頃から放置され、周辺の住民から撤去を求める声もあがり、内郷駐在所や行政も張



長年放置されていた2台の自動車



り紙をして警告をするなど対応していたもののうちがあかない状況が続いていました。3年ほど前、現場の目の前に住み、日曜版読者となったKさんから「車の中にゴミがいっぱい。火でもつけられ火事にでもなっ

たら大変』『畑に隣接しているために草刈りもできない』。ダムの工事などのために出入りする業者からも『工事の邪魔になる』など多くの苦情が寄せられている。駐在も対応しているがちがあかない。共産党に何とかしてもらいたい」との要求が出され、党支部として早速、田所健太郎市議などに解決を要望。それでも思うように進まない中で、党支部が一昨年の暮れから津久井土木事務

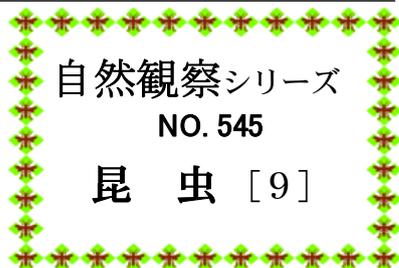
所に解決を系統的に働きかけ、さらに最近改めて田所議員からも関係機関に働きかけてもらったところ、今回の「撤去」の運びとなりました。残っていた1台も2月13日に撤去されました。

やっと家の前がすっきりし、Kさんからもお礼を言われました。

春だけ見られる蝶



成虫の形で冬越した蝶



自然観察シリーズ

NO. 545

昆虫 [9]

春の蝶

3月5日は冬眠して  
いた虫達も眠りからさ  
めて活動を始める二十  
四節気の啓蟄です。

3月は植物や虫も動き出す季節の始  
りです。私は春本番前のこの時期が大好  
きで、野山へ出て春の兆しを探して歩き  
回っています。

日当たりの良い山道では、冬眠からさ  
めてヒオドシチョウや、テングチョウや、  
ルリタテハや、キタテハなどの成虫で冬  
越しした蝶が飛び回って、石の上で日向  
ぼっこしたりしています。日だまりでは  
早咲きのスミレ類も見つかります。  
一方でサナギで冬越しして春になって  
から成虫になる蝶にはギフチョウや、コ  
ツバメや、ミヤマセセリなどがあって、  
真正正銘の春の蝶で、春の時期だけ成虫  
が見られます。春の妖精——スプリング・  
エフェメラルと云われています。



参院選躍進めざし、政策ポスターを貼りだし中です

張り出しOKの場所が  
あればご連絡下さい

